

2022年1月11日

デジタルロジスティクス推進協議会 御中

一般社団法人 日本加工食品卸協会
専務理事 時岡 肯平
情報システム研究会座長 佐藤登志也

納品伝票電子化標準メッセージに関する検討について

貴協議会より2021年10月15日付でご依頼を受けました、貴協議会策定の物流メッセージ「事前納品通知情報」「納品確認通知情報」（以下、DLフォーマット）の承認につきまして、弊協会の情報システム研究会にて検討しました結果、下記の様な結論となりましたのでご連絡申し上げます。

記

1. 「事前納品通知情報」及び「納品確認通知情報」を含む納品伝票電子化の方向性については異論はなく、そのフォーマットについて乱立を避けるために、貴協議会で策定された「DLフォーマット」を当業界における標準メッセージとして承認いたします。
2. 当該「DLフォーマット」は物流事業者を含めた活用を意図したものと認識し、弊協会が制定したメーカー・卸間のEDI標準フォーマット（事前出荷情報）と併せて活用を図ってまいります。
3. 一方で、当該「DLフォーマット」の普及推進をどの様に行っていくか、また将来の改訂を含む維持管理をどの様な体制で行っていくか、これらの点については未だ課題も多く、具体的な方向性を早期に打ち出す必要があるとの認識を持っております。

弊協会としての見解は以上であります。今後も貴協議会と協力してこの標準メッセージの実用化（社会実装）と普及促進に向けた対応を進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上